

世界報道写真展 2010

WORLD PRESS PHOTO 10

ある時代の、地球の記録



世界報道写真大賞 ピエトロ・マストゥルツォ(イタリア)：2009年6月24日、テヘランの建物の屋上からイランの現体制への抗議の言葉を叫ぶ女性。6月12日に実施された大統領選挙後の数週間、反大統領派が通りで激しい抗議行動を繰り広げた。通りに人影が消える夜になると、住人は自宅の屋上にあがって抗議を続ける。「独裁者に死を」「アラール・アクバル(神は偉大なり)」の叫びがテヘラン中に響き渡った。

2010.6.12sat - 8.8sun 東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間：10:00~18:00(木、金は20:00まで)入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日(ただし7月19日は開館、翌20日は休館)

観覧料：一般 700(560)円/学生 600(480)円/中学生・65歳以上 400(320)円 小学生以下無料 ※()は20名以上の団体割引料金

主催：世界報道写真財団、朝日新聞社 共催：東京都写真美術館 後援：オランダ王国大使館、社団法人日本写真協会、社団法人日本写真家協会
協賛：キャンノンマーケティングジャパン株式会社、ティエヌエクスプレス株式会社 お問い合わせ：東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099

世界報道写真展 2010

WORLD PRESS PHOTO 10

今あなたが息をしているこの瞬間、世界には数え切れないほどの生があり、死があり、愛があり、憎しみがあり、喜びがあり、悲しみがあります。そしてその瞬間を一つでも多く切り取ろうと、シャッターを押し続ける報道写真家たちがいます。今年も世界128カ国、5847人のカメラマンから、101960点もの作品が世界報道写真財団に寄せられました。その中から選ばれた約200点の作品から、世界の今が見えてきます。まだ知らない隣人たちの存在、思いから、どうか目をそらさないでください。



「スポットニュース」の部 組写真1位
ワルテル・アストラダ
(アルゼンチン、AFP通信)
マダガスカルでの流血の惨事(2月)



「一般ニュース」の部 単写真1位
ケント・クリッヒ
(スウェーデン、ガザの写真アルバム「Tuzzah」)
砲弾で天井に穴(3月3日、ガザ地区)



「ニュースの中の人びと」の部 組写真2位
チャールズ・オマニー
(イギリス、Getty Imagesからニューズウィーク誌)
就任式の日(1月20日、ワシントンD.C.)



「日常生活」の部 単写真2位
ジョアン・バルデレッティ
(フランス)
日曜日のピクニック(モザンビーク)



「ニュースの中の人びと」の部 単写真2位
デイヴィッド・グッテンフェルダー
(米国、AP通信)
タリバン勢力の攻撃に挑戦する米軍兵士
(5月11日、アフガニスタン)



「現代社会の問題」の部 単写真2位
ステファノ・デ・ルイジ
(イタリア、VIIネットワークからル・モンド・マガジン)
干ばつで死んだキリン(9月、ケニア北東部)



「ポートレート」の部 単写真1位
ローラ・ペナック
(イギリス、リサ・ブリチャード・エージェンシーから
ガーディアン・ウィークエンド誌)
拒食症のティーンエイジャー



「アート&エンタテインメント」の部 組写真1位
キトラ・カハナ
(カナダ、フアブリカからカローズ)
レインボーランド(ニューメキシコ州)



「自然」の部 単写真1位
ヨエ・ペテルスブルガー
(ハンガリー、ナショナル・ジオグラフィック・イメージ・コレクション)
獲物を捕らえるカワセミ(ハンガリー)

関連
イベント

6.12(土) 15:00~17:00

東京都写真美術館1階ホール

7.3(土) 14:00~16:00

東京都写真美術館1階アトリエ

7.17(土)~19(月祝) 3日間開催

東京都写真美術館1階アトリエ

7.23日(金) 10:00~16:30

東京都写真美術館1階アトリエ

トークセッション「今、報道写真に求められるもの」

定員：190人、無料(世界報道写真展2010のチケットまたは半券を提示) 開場：14時30分、先着順

片岡英子氏(ニューズウィーク日本版フォトディレクター)、世界報道写真コンテスト2010審査員、倉田法行氏(写真家、早稲田大学講師)

若手カメラマンのトークセッション「報道写真に命懸け」

定員：60人、無料(世界報道写真展2010のチケットまたは半券を提示) 開場：13時30分、先着順

第3回写真フォトドキュメンタリー・ワークショップ(主催 東京都写真美術館/朝日新聞社)

事前申込制、有料、詳細はwww.syabi.com フォトジャーナリズム、フォトドキュメンタリーの現場を学べる3日間連続のプログラム

講師：Q・サカマキ(写真家、アメリカ在住)、外山俊樹(AERAフォトディレクター)

小中学生を対象とした報道カメラマン1日体験。自分の撮った写真が紙面になります

定員：15人、事前申込制、参加費1,500円

申込みは往復はがきで〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2朝日新聞文化事業部「1日報道カメラマン」係、締切7月16日